

黒潮の北偏傾向は今後も継続

0~100m深水温は、黒潮流路で「やや高め~高め」、他で概ね「やや高め」で推移

(令和4年12月の海況と今後の予測)

1 海洋観測結果 (12/14~16: 調査船「いばらき丸」)

- 水深別水温図を図2、3に、鉛直図を図4に示しました。
- 水温は0m深で18~21℃台、50m深で18~21℃台、100m深で14~21℃台、200m深で9~16℃台でした (図2)。
- 平年と比較すると、0~50m深では「平年並~やや高め」、100~200m深では141° 30' E以東の黒潮域で概ね「平年並~高め」、他で「平年並~やや高め」となりました (図3)。
- 潮流は141° 30' E以東の黒潮流路で真潮傾向、他で概ね逆潮傾向となりました。

2 本県周辺海況の現況

- 本県海域の0m深水温は18~21℃となっています (図1)。
- 黒潮は犬吠埼の東45マイル、塩屋埼の東65マイルを北北東に流れています。黒潮の北限は143° E付近で38° N付近まで達し、北偏しています (12月19日海上保安庁「海洋速報」より)。
- 茨城県沖で黒潮が立ち上がり、その逆流によって本県沿岸域も暖水で覆われています。親潮系冷水の差込みはみられず、水温は平年よりも高くなっています。

3 今後1か月の見通し

- 黒潮の立ち上がりは、今後、少なくとも1か月程度は継続すると考えられ、141° E以東を中心に例年より水温が高くなる見込みです。また、黒潮の接岸傾向が継続した場合、沿岸域の水温も例年より高くなる見込みです。
- 1か月後の0~100m深水温は、黒潮とその暖水波及により、黒潮流路では「やや高め~高め」、他では概ね「やや高め」となる見込みです。

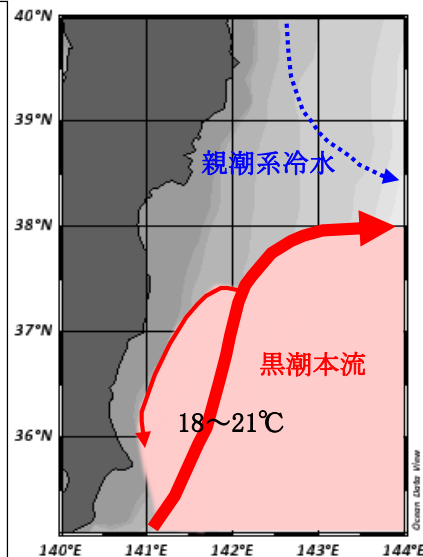


図1. 海況の現況 (12月18日)

※水温は平年値と比較して、
 ±1.5℃が「平年並」、
 ±1.6~3.9℃が「やや高め・やや低め」、
 ±4.0~6.0℃が「高め・低め」、
 ±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

【参考】12月の0m深の平年値 (142° E以西の30年間 (1991-2020) の平均水温)
 (定線別平年値※) 会瀬: 16~17℃台、大洗: 15~19℃台、鹿島: 16~19℃台、犬吠埼: 18~21℃台
 詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 小熊 進之介)

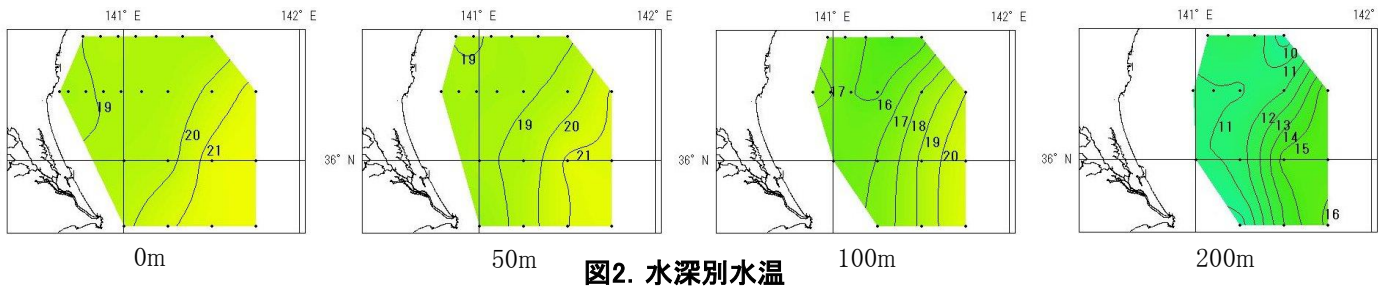


図2. 水深別水温

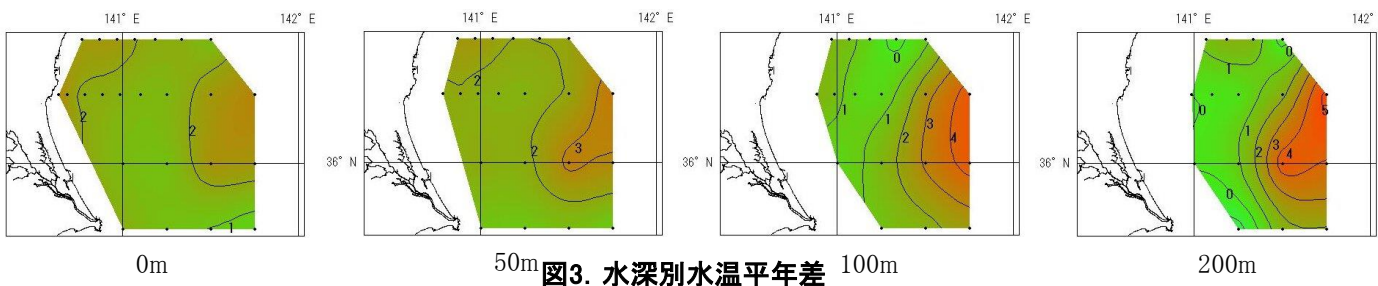


図3. 水深別水温平年差

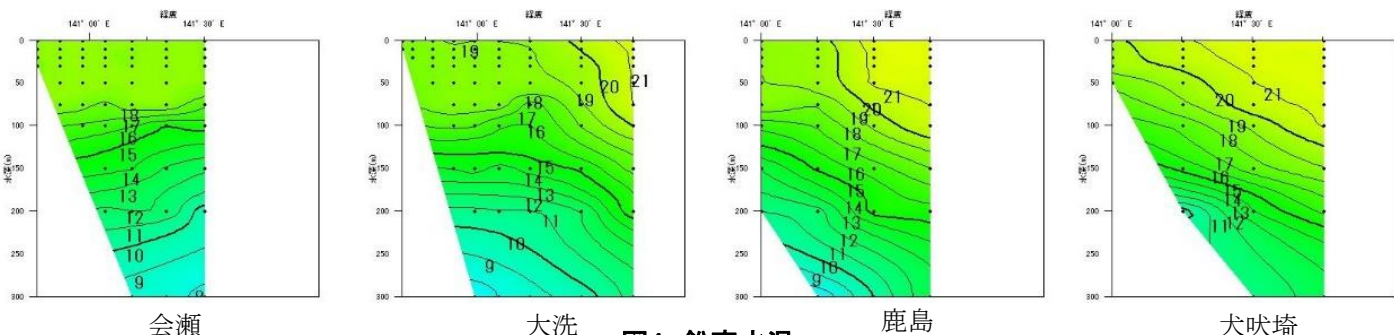


図4. 鉛直水温